

カリキュラム・ポリシー 〈教育課程の編成方針〉

サービス経営学部では、サービス経営学の学修を通じて、ホスピタリティ精神に基づく豊かな人間性を持つ、実践的で柔軟な職業人を育成することを目的とする。こうした教育目的を実現するために、以下の方針に沿ってカリキュラムを編成する。

1

本学部においては、全ての学修機会においてホスピタリティ精神を育むとともに、大学で修得した専門性を中心とする多様な力を活用して、市民としての社会的責任に積極的に関与できる人材を育成する。

2

本学部で学ぶ学生たちの将来の活躍の場は、従来の想像が及ばぬ速度で変化する社会である。そこでは「予測不能な変化に臨機応変に対応できること」が最重要課題となる。そのためには、「学び」に関心を持ち、「学び続ける」意欲や態度を持つことが必須である。

そこで、これまでの「知識移転型の学び」に加え、「能動的・活動的な学び(アクティブラーニング)」における「反省的实践」を通して、①ホスピタリティ精神に基づく、豊かで柔軟な協調的主体性(未来創造的コンピテンシー)、②専門性、③汎用的技能、④未来創造的思考力、⑤未来創造的行動力の5つの要素でできている、「他者とともに協調し、学び合いながら、未来を創造する力」を総合的に修得できるカリキュラムを編成する。

3

まず、実践的で柔軟な専門性の基礎を固めるために、「ラーニングエレメント科目」を設置する。これは、自律的・協働的・創造的な「学び合い・教え合い」に根差す、自らに適した新しい「学び方」を発見するためのものである。

4

それに加え、サービス経営学が対峙する現代的諸課題に対して過去・現在にとどまらず未来起点から考える「未来創造エレメント科目」を設置する。

5

変化する社会に対応できる視野と能力を修得するための汎用的技能を身に付ける機会を、一般教育課程及び専門課程を通じて提供する。

6

一般教育科目として、「豊かな人間性」を育むとともに、現代社会における知の在り方への理解を土台として普遍的な知識を修得し、自己の存在を歴史・社会・自然と関連付けて理解できることを目指し、「大学基盤科目(ホスピタリティとコミュニケーション理解科目)」の他、教養系の科目として「人間理解領域科目(含、体育・健康理解科目)」、「社会・自然・環境理解領域科目」、「情報科学理解領域科目」、「外国語科目」並びに「初年次ゼミナール」を設置する。

7

専門科目として、1年次よりサービス経営学の基礎学問である経営学・経済学・会計学の基礎を学ぶ「専門基礎科目」を設置する。それらをベースとして、サービス経営学独自の理論を学ぶ「専門基幹科目」を設置する。

8

2年次以降、サービス経営学の領域において重要かつより高度な実践知を得ることを目的とした「専門展開コア科目」を設置する。

9

「ラーニングエレメント科目」で発見・獲得された学び方をもとにした、「アクティブラーニング科目群」を設置する。より効果的なアクティブラーニングの実現のために、学びの言語化や体験の共有化、ならびにポートフォリオ等を用いた学びの可視化を実施する。「アクティブラーニング科目群」では、正解のない問題の解決に向けた様々な協働的な学びの中で、各人が試行錯誤を通じて「実践的で柔軟な」思考や身体感覚・行動様式とホスピタリティ精神に基づく協調的主体性である「未来創造的コンピテンシー」を獲得する。

10

変化する社会に対応できる批判的思考力・分析力・評価力・判断能力・独創性を養う機会を、とくにアクティブラーニング科目の振り返りやケーススタディ、並びにゼミナールの中で、提供する。

11

「専門展開科目群」では、6つのサービス経営学の実践領域(I：ホスピタリティ、II：ツーリズム、III：ブライダル&エンターテインメント、IV：マーケティング&マネジメント、V：地域創生、VI：デジタル)を設置する。自らの興味・関心に応じた領域・内容を選択・特定することにより、これまでの学びを発展・深化させる。

12

以上の専門科目と専門展開科目群との統合を図りつつ、より学びを深化させるために2年次から4年次まで「ゼミナール科目」を設置する。

13

すべての学びを補完し、将来に向けたエンプロイヤビリティを高めることを目的とした「キャリア科目」を設置する。「キャリア科目」は、1年次から4年次まで全学年必修とする。